

## ■工学研究科 航空宇宙海洋系専攻 海洋システム工学分野

### ○ディプロマ・ポリシー

#### 【博士前期課程】

航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に修士（工学）の学位を授与する。

1. 人間活動の持続可能な発展の在り方について考え、海洋に関わる技術者として自覚し、科学技術が人・社会・自然に及ぼす影響を把握し、技術者・研究者が負うべき社会への貢献と責任を認識して高い倫理観に基づく判断・行動ができる。
2. 国際社会で活躍できる広範な視野をもつと共に、日本語能力、英語能力の向上を図り、会話・読解能力を持ち、学術論文や技術資料の調査・分析ができ、ならびに学術報告・論文の執筆・発表ができる。
3. 海洋に関わる自然および人工システムに関する基礎の学問を広く学び、それを基に物事を多角的に分析し、調和のとれた解を導くための統合化力を養い、直面する問題を解決できる。
4. 海洋システム工学における基礎的知識・技術・統合化力を駆使して、海洋工学に関連する新しいシステム・知的資産を創造できる。
5. 海洋システム工学に関する専門的な研究を通して研究者同士の協調性を養い、工学技術分野における専門的な指導ができる。

#### 【博士後期課程】

航空宇宙海洋系専攻海洋システム工学分野では、工学研究科のディプロマ・ポリシーのもと、以下の項目を学位授与のために身に付けるべき能力とし、これらの能力を修得した者に博士（工学）の学位を授与する。

1. 人間活動の持続可能な発展の在り方について考え、海洋に関わる研究者として自覚し、科学技術が人・社会・自然に及ぼす影響を把握し、技術者・研究者が負うべき社会への貢献と専門家責任を認識して高い倫理観に基づく判断・行動ができる。
2. 国際社会で活躍できる広範な視野とコミュニケーション能力をもつと共に、高度な日本語能力、英語能力の向上を図り、会話・読解能力を持ち、学術論文や技術資料の調査・分析ができ、ならびに学術報告・論文の執筆・発表ができる。
3. 海洋に関わる自然および人工システムに関する専門的な学問を深く学び、それを基に物事を多角的に分析し、調和のとれた解を導くための統合化力を養い、直面する問題を解決できる。
4. 海洋システム工学における専門的知識・技術・統合化力を駆使して、海洋工学に関連する

新しいシステム・知的資産を創造できる。

5. 海洋システム工学に関する専門的な研究を通して研究同士の協調性を養い、工学技術分野における専門的な指導ができる。
6. 海洋システム工学に関する未開拓の分野において自立して研究を遂行できる。